



むくの木

No. 1 1

3月号

学校教育目標

- 〔知〕 進んでできる子・考える子
- 〔徳〕 心豊かな子
- 〔体〕 たくましい子



感謝を伝え合える年度末に

校長 佐藤 貴広

本校では毎月1回、音楽朝会を行っています。二月の歌は、「あなたにありがとう」。歌詞にある、まわりの人への感謝の思いを、皆で感じ取るひと時となりました。2/13(火)の「ありがとう集会」では、5名のボランティアの方に全校児童から手紙と全校合唱で感謝の気持ちをお伝えしました。子供たちは、他者を喜ばせることは自分の喜びにもなることを学んだと思います。2/26(月)27(火)、3/1(金)には、最後の授業参観と懇談会を行いました。この一年で子供たちは心身ともに一段と成長したことと思います。懇談会では各担任から、一年間の総括と進級・進学に向けた話題を提供させていただきました。保護者の皆様、ご多用のところご出席くださりありがとうございました。

令和6年度の教育課程の変更について

来年度の教育課程の編成では、大きく次の2点を変更します。1つは、夏季休業中に実施してきた「サマースクール」を「授業日」とします。もう1つは、3～6年生の週当たりの授業時数を見直し、1時間削減します。現在、各学校には、国及び県・市の教育委員会から授業時数や学校行事を見直し、標準授業時数を踏まえた必要最小限の授業時数で教育課程の編成をするよう見直しが求められています。本校は既に2～6年生でモジュール授業(15分×3回)を行い、日課(時間割)を工夫してきましたが、今年度の実績を検証し、行事への取組方の工夫やサマースクールを授業としてカウントすることで、更に週当たりの授業時数を削減することといたしました。具体的には、3～6年生の水曜日の6時間授業を5時間授業へと変更いたします。これに伴い、来年度は、月曜日と水曜日が全学年5時間授業での一斉下校となります。3～6年生は、週に1日、これまでより早く下校でき、ゆとりができると考えております。また、教職員は、授業の準備も含め児童と関わる時間を増やすことができ、働き方改革につながります。保護者、地域の皆様には、今回の変更についてご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

学校関係者評価について

第3回学校運営協議会で本校の重点目標に係る学校関係者評価を行いました。委員の皆様のご意見を来年度の学校運営に生かしてまいります。

<学校関係者評価より(抜粋)>※詳細はHPに後日掲載

- ・校内での先生方の雰囲気はとても良いと思う。小さな学校ならではの動きやすさを活かし、新しい変化を入れて楽しく働きやすい学校になるとよい。
- ・少人数の教職員のため一見まとまりやすく見えるが多方面の意見が出にくくなる面もあるかもしれない。ベテラン教員は経験をいかしてほしい。
- ・モジュール授業「朝西タイム」の導入による成果は大きい。今後も柔軟な改革が行われることに期待する。
- ・県学力調査に満足している。子供が何が苦手か知ることができ、子供とどうしていか話をするのができている。
- ・学校応援ボランティアの種類や具体的な内容、申込方法などを保護者はもちろん、地域への配信への工夫を行ってはどうか。
- ・保護者は学校での様子を見られないので、様々な授業の写真など、鍵付きのページで見られる、またはメール配信があると嬉しいと思う。
- ・運動会のあり方や行事の保護者の参加方法などコロナ禍での経験を踏まえて新しい方法を定着させる時期だと感じる。
- ・授業用意がある中での研究や研修に時間を取られて大変かと思う。
- ・(研究している)算数科は基礎基本が大事。反復練習で徹底的に教え、出来たら褒めるとよい。
- ・外壁の高さがいないため不審者の乱入が心配である。日ごろから想定した対応マニュアルを進めていただきたい。
- ・高い外塀は学校からだけでなく、保護者や地域が一体となって声をあげて実現、設置できるとよい。

